1. Internet Explorer(IE)の場合

JavaScriptとCSS、両方の設定が必要です。 ツールからインターネットオプションを選択します。



インターネットオプション画面が表示されます。

全般タブを選択し、画面下部のユーザー補助ボタンをクリックします。

ユーザー補助画面が表示されますので、書式設定ですべてのチェックが外れていることを確認し、OK ボタンをク リックします。これで CSS が有効になります。

ユーザー補助								
書式設定								
Web ページで指定された色を使用しない(C)								
Web ページで指定されたフォント スタイルを使用しない(S)								
Web ページで指定されたフォント サイズを使用しない(Z)								
ユーザー スタイル シート								
自分のスタイル シートでドキュメントの書式を設定する(D)								
スタイル シート(工): 参照(<u>B</u>)								
ОК + туси								

次に、セキュリティタブを選択し、インターネットのセキュリティのレベルを「中高」に設定します。



適用を押すと、JavaScriptの設定が有効になります。

OK ボタンをクリックするとインターネットオプション画面が閉じます。

Google Chrome(GC)の場合
 JavaScript の設定のみを行います。



設定をクリックし、設定画面を表示ます。

画面下部の「詳細設定を表示する…」という文字をクリックして、詳細設定画面を表示します。

「コンテンツの設定」ボタンをクリックすると、コンテンツの設定画面が表示されます。

「すべてのサイトで Javascript の実行を許可する(推奨)」を選択し、完了ボタンをクリックすると、有効になります。

コンテンツの設定	×
Cookie ・ ローカルへのデータ設定を許可する(推奨) ・ ブラウザを終了するまでローカルデータを保存する ・ サイトからのデータ設定をすべてブロックする ・ サードパーティの Cookie とサイトデータをブロックする 例外の管理 すべての Cookie とサイトデータ	
画像	
● すべての画像を表示する (推奨)	
◎ すべての画像を表示しない	
例外の管理	
Javascript	
● すべてのサイトで Javascript の実行を許可する(推奨)	
◎ すべてのサイトに対して Javascript の実行を許可しない	
完	7

- Mozila Firefox の場合
 Firefox の初期設定では JavaScript 及び CSS の使用が有効になっています。
- 4. Apple Safari の場合

JavaScript の設定のみを行います。 設定画面を開き、セキュリティタブを表示します。 「JavaScript を有効にする」にチェックを入れると、JavaScript が有効になります。

セキュリティ		201		-					×	
<mark>[日]</mark> 一般	表示	ブックマーク	タブ	RSS RSS	自動入力	セキュリティ	プライバシー	機能拡張	いでは、	
詐欺サイト: ☑ 詐欺 Web サイトを訪問したときに警告 Web コンテンツ: ☑ ブラグインを有効にする										
✓ Java を有効にする										
☑ JavaScript を有効にする										
◎ ポップアップウインドウを開かない										
		ニー ビーエリティ休留	ECALCUNAU	174-142C-	トユリデイ休護(EANS WED DA		PEDO	?	
									?	